

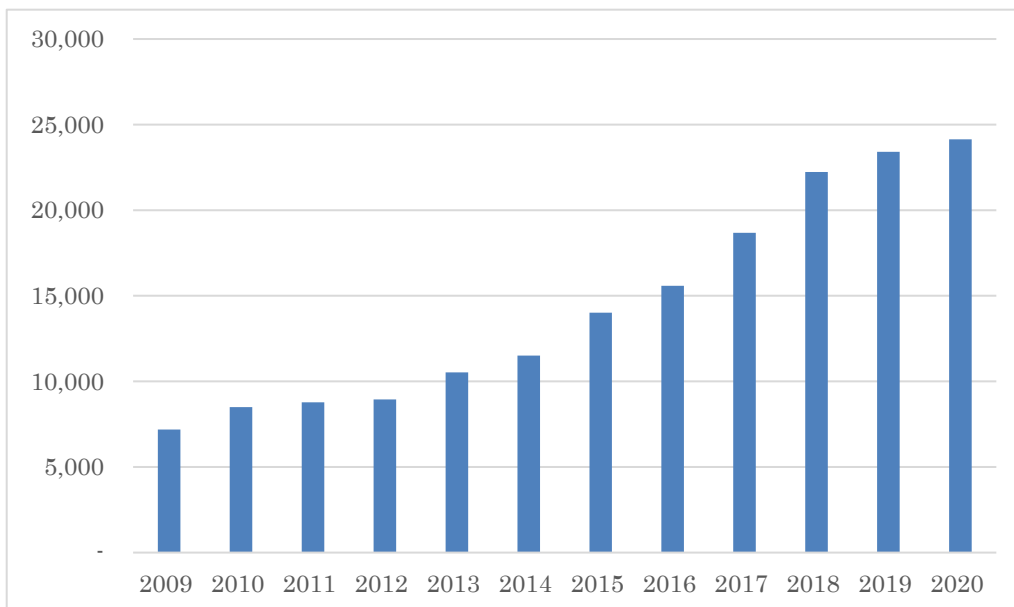
【報道関係各位】

2021年2月2日
日本酒造組合中央会

コロナ禍でも、日本酒の輸出金額総額が **11年連続**で最高記録を達成！ 日本酒は量より質の時代に！2020年度の総額は **241億円**を突破！

- ◎日本酒、焼酎のユネスコの無形文化遺産登録に向けて、海外からも追い風
- ◎香港の伸び率はコロナ禍でも約157%と驚異的！

日本酒業界最大の団体で、全国1,691の蔵元が所属する日本酒造組合中央会（以下：中央会）は、国内で最も早く、2020年度（1～12月）の清酒輸出総額を発表いたします。



2009	7,184
2010	8,500
2011	8,776
2012	8,946
2013	10,524
2014	11,507
2015	14,011
2016	15,581
2017	18,679
2018	22,232
2019	23,412
2020	24,141

単位：百万円

出典：財務省貿易統計

【輸出実績推移トピックス】

【全体】

- **コロナ禍にもかかわらず、過去最高の輸出金額**を達成。総額約 **241億円**（昨対比103.1%）。昨対比では、数量では87.3%ながら、金額では103.1%となりました。
- 数量では、前年比87.3%となり、海外のトレンドが、量よりも質を求める傾向にあることがわかりました。一升瓶（1.8ℓ）に換算すると約**1200万本**。一升瓶（高さ約40cm）を並べた距離に換算すると約4,800km（**日本一の酒どころ、神戸・灘-マレーシア**間に相当）に達する計算となります。

【国別】

- 金額の**第1位は香港**。初めてアメリカが首位を他国に譲り渡す形となりました。数量では変わらずアメリカが第一位。日本酒が幅広く飲まれている背景があることをうかがわせる一方、金額面では、中国、香港、シンガポール等アジアがけん引し、高価格帯の日本酒が選ばれる傾向にあることがわかりました。
- 2位の**中国は、10年前と比較して伸び率が約1,600%と驚異的**で、現地での日本酒を取り扱う人や愛飲者が増えていることを裏付けました。

《国別グラフ》

■金額ベース ※単位：百万円

国別	暦年		年対比		
	R1 (2019)	R2 (2020)	R2/H22	R2/H27	R2/R1
1 香港	3,943	6,178	490.7	270.7	156.7
2 中国	5,001	5,792	1,592.1	494.1	115.8
3 アメリカ	6,757	5,070	159.8	101.5	75.0
4 台湾	1,359	1,430	285.0	160.8	105.3
5 シンガポール	857	1,113	360.2	211.8	130.0
6 韓国	1,360	979	84.0	71.8	72.0
7 オーストラリア	439	491	324.1	158.3	111.9
8 カナダ	548	429	190.1	124.5	78.4
9 ベトナム	376	279	185.9	112.4	74.2
10 マレーシア	242	278	401.6	153.7	114.8
合計	23,412	24,141	284.0	172.3	103.1

※下記の方は日本酒に関する有識者としてインタビュー可能です。

リサーチ段階でも、ご希望がありましたら PR 事務局までご連絡ください。

《日本酒造組合中央会 理事/宇都宮 仁》

各国のロックダウンでレストラン向けの売上が大きく低下し、輸出数量が 13 ポイント下がったにもかかわらず、輸出総額が我々の予測以上に昨年を上回り、過去最高額を達成したことは非常に嬉しいことでした。

各国でも、イェノミへの対応で、個人向け店頭販売や通信販売等、日本酒の新しいマーケットが広がっていると聞いています。金額面では、中国、香港、シンガポール等アジアがけん引し、アメリカ、イギリスに比べても高価格帯の日本酒が受け入れられる傾向にあります。

特に、中国においてははまだ輸出制限がある中でのこの数字であるため、制限解除後のさらなる伸びに期待しています。



《日本の酒情報館 館長/今田周三》

日本の酒情報館ではインバウンドの来館者はほとんど見かけぬ日常になってしまいましたが、Sake On Air、Sake Future Summit など、オンラインを中心とした情報発信に力を入れる 1 年になりました。海外で日本酒に関わる人々や消費者とのネットワークを繋げる活動を通じて、今後も、コロナ禍に負けない、今だからこそできる情報発信に注力してまいります。



※参考：『日本の酒 情報館』 ■東京都港区西新橋 1-6-15 日本酒造虎ノ門ビル 1F

常時 100 種類以上の日本酒、本格焼酎・泡盛等を 1 杯 100 円から楽しむことができ、いつも国内外からのお客さまでにぎわっています。また試飲だけでなく、日本酒にまつわる情報収集もできて、酒蔵見学などの相談もできるなど、“コンシェルジュ”としての役割も担っています。 ※緊急事態宣言下では販売のみ

■公式 HP：<http://www.japansake.or.jp/sake/known/data/>

■報道関係者からの問い合わせ 日本酒造組合中央会 PR 事務局（株式会社サニーサイドアップ内）

TEL：03-6894-3200 Mail：japansake@ssu.co.jp

担当：北澤（携帯 080-4952-8681）、藤岡（携帯：080-7949-6504）